

Art Therapy

アートセラピー

- 認知症患者を対象とした臨床アプローチ -

2019.10.29 (火) 18:00~19:00

長崎みなとメディカルセンター
1階 醫聖ホール



講師

活水女子大学 准教授 石田 陽介 先生

講演内容

美術・音楽・陶芸・連句・ダンスなど、様々な芸術体験を個々の患者さんの状態に合わせて適切に処方する治療技法、それがアートセラピー(芸術療法)です。現在の日本の社会において、アートセラピーは医療現場のみならず介護福祉や教育においても広く活用される機会が増え、古くて新しい技術として注目されています。本講演では、認知症患者に向けたアプローチを中心に、臨床現場で活かすことのできるアートセラピーという身振りやその理論について、お話しします。

講師略歴

ソーシャル・アートセラピスト(日本芸術療法学会認定 芸術療法士)
九州大学大学院 人間環境学研究院 学術協力研究員

1967年、広島市生まれ。現在、福岡市東区箱崎に在住。
多摩美術大学油画専攻卒、九州大学大学院ユーザー感性学専攻修了。
博士(感性学)。精神科病院におけるアートセラピスト(絵画療法士)勤務を経て、2009年より、まちにおける芸術養生(セルフ・アートセラピー)文化のしくみづくりを目指す「アトリエHプロジェクト」を始動。福岡市や長崎市を起点としたソーシャル(まちの)・アートセラピーとして「箱崎アートターミナル」「ギャラリーコンパ」等、十数年に渡っての継続的なコミュニティアートプログラムの開催を通じた予防医学に根ざす地域ケアの実践研究・教育普及活動を展開する。